

調査結果の概要

[1] 学校調査

1 幼稚園

(1) 幼稚園数は215園(国立1園、公立140園、私立74園)で、前年度より公立が1園減少している。(表1「園数」参照)

私立幼稚園を設置者別にみると、学校法人立67園(90.5%)、個人立4園(5.4%)、宗教法人立2園(2.7%)、その他の法人立1園(1.4%)となっている。

(2) 学級数は609学級で、前年度より20学級減少している。(表1「学級数」参照)

編制方式別にみると、5歳児のみの学級が270学級で最も多く、次いで4歳児のみの学級160学級、3歳児のみの学級127学級の順となっている。

(3) 園児数は12,320人(男子6,260人、女子6,060人)で、前年度より113人減少している。年齢別では、5歳が5,883人(47.8%)で最も多くなっている。(表1「園児数」参照)

また、設置者別では、私立8,547人(69.4%)、公立3,615人(29.3%)、国立158人(1.3%)となっており、昭和62年度から連続して私立が国・公立の園児数を上回っている。

(4) 教員数(本務者、但し教育補助員は除く)は997人(男子61人、女子936人)で、前年度より7人減少している。本務教員1人当たりの園児数は12.4人で、前年度と同数になっている。

(5) 就園率は61.8%で、前年度より0.7ポイント低下している。全国平均は54.2%となっており、前年度より0.6ポイント低下している。(図1参照)

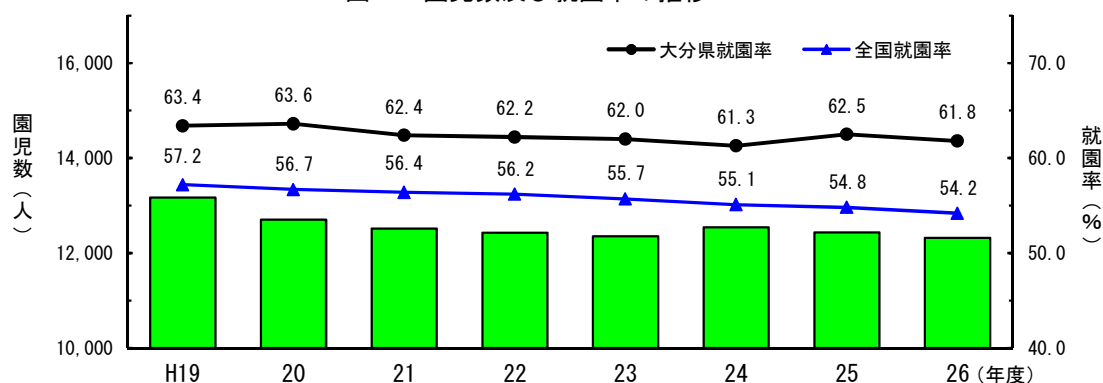
表1 幼稚園の状況

(単位：園、学級、人)

区分	園 数				学級数	園 児 数				前年度 終了者数
	計	国立	公立	私立		計	3歳	4歳	5歳	
平成19年度	241	1	166	74	673	13,169	2,378	4,077	6,714	6,826
20	234	1	159	74	650	12,704	2,333	3,991	6,380	6,932
21	229	1	155	73	648	12,519	2,306	3,950	6,263	6,499
22	226	1	152	73	649	12,427	2,506	3,848	6,073	6,415
23	222	1	148	73	627	12,350	2,526	3,983	5,841	6,213
24	220	1	146	73	626	12,544	2,621	3,904	6,019	6,035
25	216	1	141	74	629	12,433	2,534	3,917	5,982	6,327
26	215	1	140	74	609	12,320	2,617	3,820	5,883	6,282

(学級数は0人の学級を含む)

図1 園児数及び就園率の推移



2 小学校

(1) 学校数は298校(国立1校、公立296校、私立1校)で、前年度より公立が6校減少している。

表2 設置者別学校数(小学校) (単位:校)

区 分	計	国 立	公 立			私 立
			計	本 校	分 校	
平成19年度	355	1	353	339	14	1
20	348	1	346	333	13	1
21	342	1	340	327	13	1
22	326	1	324	312	12	1
23	321	1	319	308	11	1
24	309	1	307	296	11	1
25	304	1	302	291	11	1
26	298	1	296	287	9	1

(2) 学級数は2,866学級で、前年度より8学級減少している。

学級種別でみると、単式学級が2,390学級、複式学級が134学級、特別支援学級が342学級で、前年度よりそれぞれ25学級減少、1学級増加、16学級増加している。

また、特別支援学級の全体に占める割合は11.9%で、前年度より0.6ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は9.6学級で、前年度より0.1学級増加している。

表3 学級数(小学校) (単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	特別支 援学級	特別支援学 級の占める 割合(%)	1校当たり の学級数
平成19年度	3,027	2,660	168	199	6.6	8.5
20	2,990	2,620	163	207	6.9	8.6
21	2,950	2,577	156	217	7.4	8.6
22	2,918	2,526	154	238	8.2	9.0
23	2,918	2,502	152	264	9.0	9.1
24	2,878	2,454	133	291	10.1	9.3
25	2,874	2,415	133	326	11.3	9.5
26	2,866	2,390	134	342	11.9	9.6

(3) 児童数は60,802人(男子31,135人、女子29,667人)で、前年度より732人減少している。
児童数は昭和58年度以降毎年減少が続いている。

1学級当たりの児童数は21.2人で、前年度より0.2人減少している。

表4 学年別児童数(小学校) (単位:人)

区 分	計	学 年 別 児 童 数					
		1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	6 学 年
平成19年度	66,690	10,771	10,900	11,054	11,289	11,439	11,237
20	66,321	10,906	10,779	10,894	11,024	11,290	11,428
21	65,240	10,412	10,874	10,767	10,883	11,008	11,296
22	64,187	10,313	10,411	10,855	10,743	10,867	10,998
23	63,239	10,029	10,341	10,398	10,856	10,745	10,870
24	62,256	9,842	10,050	10,339	10,442	10,833	10,750
25	61,534	10,121	9,827	10,025	10,339	10,401	10,821
26	60,802	10,159	10,128	9,805	10,012	10,323	10,375

(4) 平成25年度間に30日以上欠席した児童は409人で、前年度間より11人減少している。

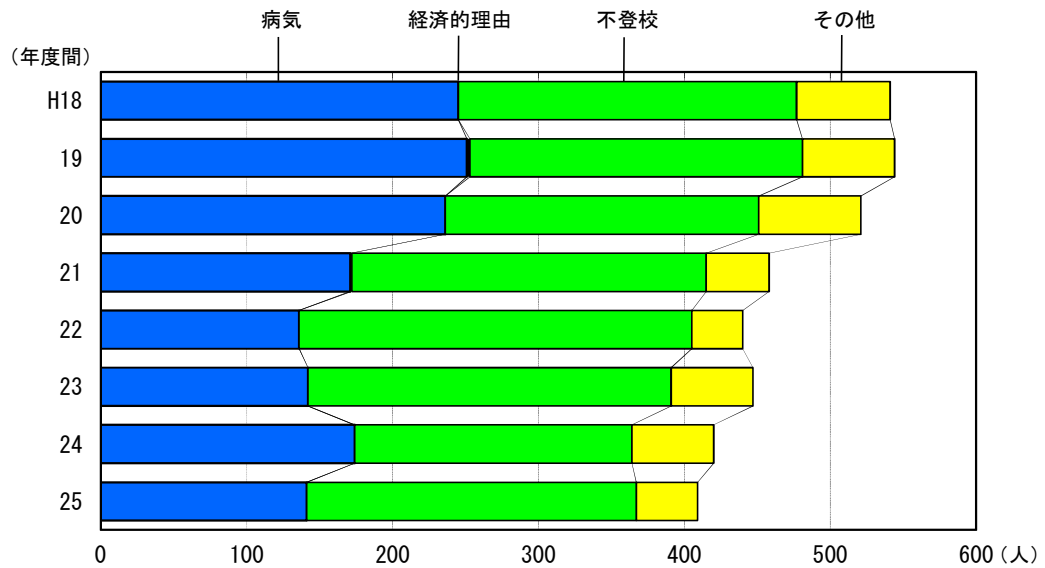
長期欠席率は0.66%で、前年度間より0.01ポイント低下している。

理由別にみると、不登校226人(55.3%)が最も多く、次いで病気が141人(34.5%)、その他42人(10.3%)、経済的理由0人(0%)の順となっており、前年度間よりそれぞれ36人増加、33人減少、14人減少、同数となっている。

表5 理由別長期欠席者数(30日以上)(小学校) (単位:人)

区 分	計	病 気	経済的 理由	不登校	その他	長期 欠席率 (%)
平成18年度間	541	245	-	232	64	0.80
19	544	251	2	228	63	0.82
20	521	236	-	215	70	0.79
21	458	171	1	243	43	0.70
22	440	136	-	269	35	0.69
23	447	142	-	249	56	0.71
24	420	174	-	190	56	0.67
25	409	141	-	226	42	0.66

図2 理由別長期欠席者数（30日以上）（小学校）



(5) 教員数(本務者)は4,505人(男子1,634人、女子2,871人)で、前年度より28人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は15人増加し、女子教員は43人減少している。また、男女別の構成比は、男子教員36.3%、女子教員63.7%で、昭和56年度以降連続して女子教員が男子教員を上回っている。

本務教員1人当たりの児童数は13.5人で、前年度より0.1人減少している。

表6 教員数（本務者）（小学校）

（単位：人）

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成19年度	4,718	1,696	3,022	24	4,683	11
20	4,693	1,660	3,033	25	4,655	13
21	4,587	1,603	2,984	25	4,547	15
22	4,560	1,610	2,950	25	4,520	15
23	4,615	1,632	2,983	25	4,573	17
24	4,561	1,616	2,945	26	4,518	17
25	4,533	1,619	2,914	26	4,490	17
26	4,505	1,634	2,871	26	4,462	17

3 中学校

(1) 学校数は140校(国立1校、公立134校、私立5校)で、前年度と同数になっている。

表7 設置者別学校数(中学校)

(単位:校)

区分	計	国立	公立	私立
平成19年度	149	1	143	5
20	148	1	142	5
21	143	1	137	5
22	142	1	136	5
23	142	1	136	5
24	143	1	137	5
25	140	1	134	5
26	140	1	134	5

(2) 学級数は1,242学級で、前年度より9学級減少している。

学級種別でみると、単式学級が1,083学級、特別支援学級が159学級で、前年度よりそれぞれ22学級減少、13学級増加となっている。また、特別支援学級の全体に占める割合は12.8%で、前年度より1.1ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は8.9学級で、前年度と同数になっている。

なお、複式学級は、昭和49年度から該当なしとなっている。

表8 学級数(中学校)

(単位:学級)

区分	計	単式学級	複式学級	特別支援学級	特別支援学級の占める割合(%)	1校当たりの学級数
平成19年度	1,171	1,097	-	74	6.3	7.9
20	1,242	1,160	-	82	6.6	8.4
21	1,241	1,151	-	90	7.3	8.7
22	1,227	1,129	-	98	8.0	8.6
23	1,247	1,126	-	121	9.7	8.8
24	1,254	1,112	-	142	11.3	8.8
25	1,251	1,105	-	146	11.7	8.9
26	1,242	1,083	-	159	12.8	8.9

(3) 生徒数は32,059人(男子16,424人、女子15,635人)で、前年度より234人減少している。
生徒数は昭和63年度以降減少傾向が続いている。

1学級当たりの生徒数は25.8人で、前年度と同数になっている。

表9 学年別生徒数(中学校)

(単位:人)

区 分	計	学 年 別 生 徒 数		
		1 学 年	2 学 年	3 学 年
平成19年度	35,047	11,958	11,537	11,552
20	34,604	11,153	11,944	11,507
21	34,336	11,315	11,130	11,891
22	33,610	11,181	11,302	11,127
23	33,384	10,937	11,160	11,287
24	32,893	10,777	10,942	11,174
25	32,293	10,612	10,763	10,918
26	32,059	10,706	10,607	10,746

(4) 平成25年度間に30日以上欠席した生徒は1,156人で、前年度間より29人減少している。
長期欠席率は3.58%で、前年度間より0.02ポイント低下している。

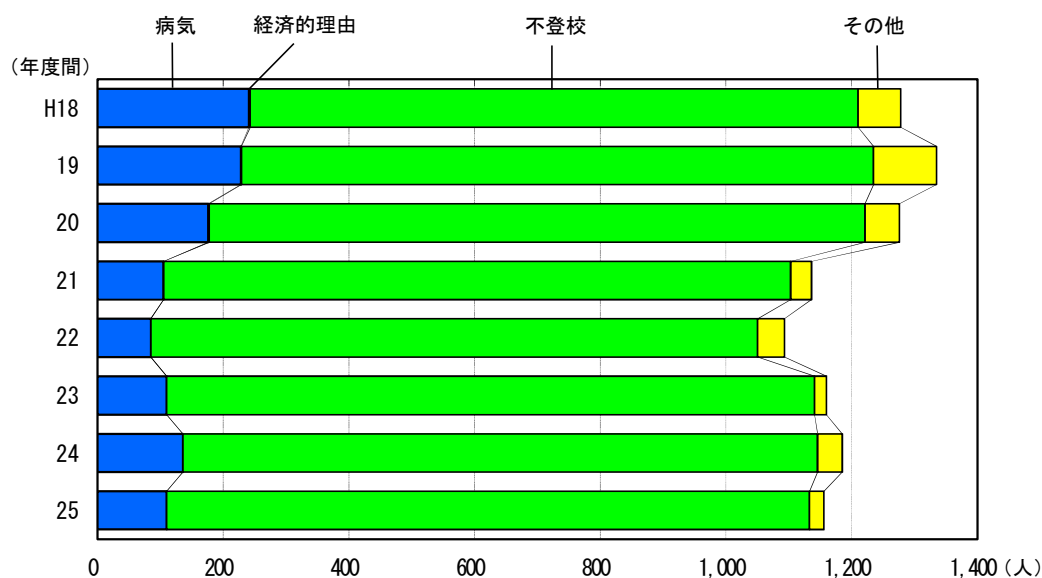
理由別にみると、不登校1,023人(88.5%)が最も多く、次いで病気が110人(9.5%)、その他23人(2.0%)、経済的理由0人(0%)の順となっており、前年度間よりそれぞれ13人増加、26人減少、16人減少、同数となっている。

表10 理由別長期欠席者数(30日以上)(中学校)

(単位:人)

区 分	計	病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	そ の 他	長 期 欠 席 率 (%)
平成18年度間	1,278	241	2	967	68	3.66
19	1,335	228	1	1,006	100	3.81
20	1,276	176	2	1,043	55	3.69
21	1,136	105	-	998	33	3.31
22	1,093	85	-	965	43	3.25
23	1,160	110	-	1,031	19	3.47
24	1,185	136	-	1,010	39	3.60
25	1,156	110	-	1,023	23	3.58

図3 理由別長期欠席者数（30日以上）（中学校）



- (5) 教員数(本務者)は2,707人(男子1,592人、女子1,115人)で、前年度と同数になっている。男女別にみると、前年度より男子教員は11人減少し、女子教員は11人増加している。また、男女別の構成比は、男子教員58.8%、女子教員41.2%となっている。本務教員1人当たりの生徒数は11.8人で、前年度より0.1人減少している。

表1-1 教員数（本務者）（中学校）

（単位：人）

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成19年度	2,761	1,629	1,132	21	2,691	49
20	2,746	1,632	1,114	22	2,674	50
21	2,746	1,636	1,110	23	2,672	51
22	2,739	1,622	1,117	22	2,664	53
23	2,730	1,611	1,119	22	2,654	54
24	2,729	1,604	1,125	22	2,658	49
25	2,707	1,603	1,104	22	2,635	50
26	2,707	1,592	1,115	22	2,630	55

4 高等学校（全日制・定時制）

(1) 学校数は62校(公立48校、私立14校)で、前年度より公立が2校減少している。

課程別にみると、全日制58校、定時制1校、全日制・定時制併置校3校となっている。また、本校分校別にみると、本校58校、分校4校となっている。

なお、公立のうち市立は1校で、他はすべて県立である。

表12 学校数（高等学校）

(単位：校)

区 分	計	公 立				私 立
		計	全日制	定時制	併置	全日制
平成19年度	69	55	49	1	5	14
20	63	49	43	1	5	14
21	64	50	43	1	6	14
22	65	51	43	2	6	14
23	63	49	43	2	4	14
24	64	50	44	2	4	14
25	64	50	46	1	3	14
26	62	48	44	1	3	14

(2) 学科数(本科)は107学科(普通科40、商業科14、工業科15、農業科11、看護科6、家庭科6、総合学科6、福祉科4、水産科1、その他4)で、前年度と同数になっている。

全学科に占める割合は、普通科が37.4%で最も高く、以下工業科14.0%、商業科13.1%の順となっている。(図4「学科数」参照)

(3) 生徒数は32,787人(本科32,336人、専攻科451人)で、前年度より318人減少している。男女別にみると、男子16,226人(本科16,157人、専攻科69人)、女子16,561人(本科16,179人、専攻科382人)となっている。(表13参照)

本科の学科別にみると、普通科が18,789人(58.1%)で最も多く、次いで工業科4,533人(14.0%)、商業科2,989人(9.2%)の順となっている。(図4「生徒数」、表14参照)

図4 学科数(本科)及び学科別生徒数(本科)の構成比(高等学校)

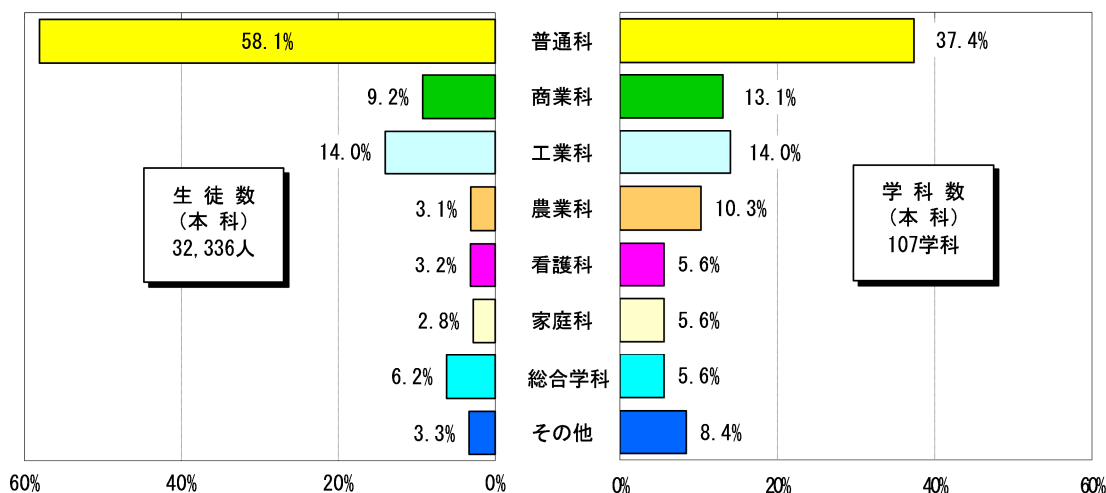


表 1 3 学年別生徒数（高等学校）

（単位：人）

区 分	計	本 科					専攻科
		計	1 年	2 年	3 年	4 年	
平成19年度	35,498	35,033	11,852	11,479	11,625	77	465
20	34,426	34,018	11,486	11,380	11,090	62	408
21	34,029	33,634	11,416	11,083	11,059	76	395
22	34,179	33,724	11,882	11,000	10,783	59	455
23	33,865	33,384	11,108	11,492	10,707	77	481
24	33,746	33,290	11,291	10,844	11,098	57	456
25	33,105	32,680	11,083	10,942	10,549	106	425
26	32,787	32,336	10,813	10,769	10,646	108	451

表 1 4 学科別生徒数（本科）（高等学校）

（単位：人）

区 分	本科計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	総合 学科	その他
平成19年度	35,033	20,237	1,430	4,402	3,471	185	1,097	793	409	2,388	621
20	34,018	19,774	1,346	4,377	3,357	152	997	791	366	2,307	551
21	33,634	19,578	1,311	4,514	3,289	129	893	793	347	2,249	531
22	33,724	19,747	1,273	4,609	3,241	115	839	793	336	2,263	508
23	33,384	19,460	1,193	4,642	3,175	114	882	863	329	2,198	528
24	33,290	19,485	1,052	4,617	3,154	113	890	914	353	2,162	550
25	32,680	19,037	1,002	4,623	3,041	113	905	989	375	2,040	555
26	32,336	18,789	1,005	4,533	2,989	113	904	1,027	445	2,007	524

(4) 教員数(本務者)は2,698人(男子1,869人、女子829人)で、前年度より1人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は7人減少し、女子教員は6人増加している。また、男女別の構成比は、男子69.3%、女子30.7%となっている。

設置者別にみると、公立2,054人(76.1%)、私立644人(23.9%)となっている。

表 1 5 教員数（本務者）（高等学校）

（単位：人）

区 分	計	公 立			私 立		
		計	男	女	計	男	女
平成19年度	2,864	2,254	1,647	607	610	406	204
20	2,781	2,188	1,581	607	593	391	202
21	2,808	2,195	1,558	637	613	401	212
22	2,822	2,211	1,568	643	611	387	224
23	2,770	2,138	1,526	612	632	406	226
24	2,741	2,114	1,502	612	627	409	218
25	2,699	2,077	1,470	607	622	406	216
26	2,698	2,054	1,448	606	644	421	223

5 特別支援学校

- (1) 学校数は、17校(国立1校、県立16校)で、前年度と同数になっている。(表16参照)
- (2) 学級数は、383学級で、前年度より1学級増加している。(表16参照)
- (3) 在学者数は、1,225人(男子772人、女子453人)で、前年度より10人増加している。部別にみると、幼稚部13人、小学部352人、中学部332人、高等部528人になっている。(表17参照)
- (4) 教員数(本務者)は、912人(男子367人、女子545人)で、前年度より7人減少している。(表16参照)
- (5) 通学状況についてみると、家庭から通学している者が1,031人で最も多く、次いで児童福祉施設からが100人、医療機関からが60人、寄宿舎からが34人となっている。

表16 特別支援学校の状況

(単位：校、学級、人)

区 分	学校数	学級数	在学者数	本 務 教 員 数		
				計	男	女
平成19年度	16	352	1,040	871	376	495
20	16	344	1,064	874	382	492
21	17	346	1,087	886	380	506
22	17	356	1,126	889	375	514
23	17	368	1,153	906	365	541
24	17	379	1,189	918	370	548
25	17	382	1,215	919	375	544
26	17	383	1,225	912	367	545

表17 部別在学者数(特別支援学校)

(単位：人)

区 分	総 数			幼稚部	小学部	中学部	高等部
	計	男	女				
平成19年度	1,040	646	394	22	294	270	454
20	1,064	656	408	14	299	292	459
21	1,087	676	411	16	314	289	468
22	1,126	696	430	17	320	289	500
23	1,153	720	433	12	333	280	528
24	1,189	755	434	11	351	297	530
25	1,215	770	445	16	351	311	537
26	1,225	772	453	13	352	332	528

6 専修学校

- (1) 学校数は、46校(公立1校、私立45校)で、前年度より2校増加している。
- (2) 生徒数は、5,054人(公立97人、私立4,957人)で、前年度より1人減少している。
男女別にみると、男子2,131人、女子2,923人となっている。
学科別にみると、最も多いのは医療関係2,955人(58.5%)で、次いで工業関係625人(12.4%)、文化・教養関係569人(11.3%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、410人(男子187人、女子223人)で、前年度より11人増加している。

表18 学科別生徒数(専修学校)

(単位:人)

区分	合計	工業関係	農業関係	医療関係	衛生関係	教育・社会福祉関係	商業実務関係	服飾・家政関係	文化・教養関係
平成19年度	5,328	678	-	3,071	455	163	123	208	630
20	5,130	639	70	2,998	414	147	123	149	590
21	4,933	594	76	2,875	361	143	124	148	612
22	5,204	608	94	2,949	435	190	133	128	667
23	5,187	596	94	2,995	457	197	119	98	631
24	5,018	581	94	3,011	402	160	118	82	570
25	5,055	596	89	3,041	414	166	130	60	559
26	5,054	625	97	2,955	409	162	172	65	569

7 各種学校

- (1) 学校数は、19校(公立2校、私立17校)で、前年度と同数になっている。
- (2) 生徒数は、1,873人(公立347人、私立1,526人)で、前年度より18人増加している。
男女別にみると、男子1,017人、女子856人となっている。
学科別にみると、最も多いのはその他(自動車操縦を含む)1,317人(70.3%)で、次いで商業実務関係188人(10.0%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、127人(男子108人、女子19人)で、前年度より3人減少している。

表19 課程別生徒数(各種学校)

(単位:人)

区分	合計	工業関係	農業関係	医療関係	衛生関係	教育・社会福祉関係	商業実務関係	服飾・家政関係	文化・教養関係	その他
平成19年度	2,478	45	-	96	5	-	164	77	256	1,835
20	1,830	44	-	93	9	-	150	87	261	1,186
21	1,926	43	-	96	5	-	162	85	249	1,286
22	1,998	40	-	42	-	-	180	80	285	1,371
23	1,713	38	-	44	-	-	311	85	90	1,145
24	1,789	45	-	107	-	-	175	107	103	1,252
25	1,855	43	-	103	-	-	170	114	132	1,293
26	1,873	35	-	92	-	-	188	86	155	1,317

[2] 卒業後の状況調査（平成26年3月卒業者）

1 中学校卒業者

(1) 卒業者数は10,921人(男子5,493人、女子5,428人)で、前年度より253人減少している。卒業者を進路別にみると、高等学校等進学者10,804人(98.93%)、専修学校(高等課程)進学者3人(0.03%)、専修学校(一般課程)等入学者2人(0.02%)、公共職業能力開発施設等入学者0人(0%)、就職者37人(0.34%)、その他75人(0.69%)となっている。

表20 進路別卒業者数(中学校)

(単位：人、%)

区 分	卒業者数 (A+B+C+ D+E+F+G)	高等学校 等進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	その他	(再掲) A、B、C、D のうち 就職者	高等学校 等進学率	卒業者に占 める就職者 の割合 就職者総 数(E+G)/T ×100	就職者の うち県内 に就職し た割合
	T	A	B	C	D	E	F	G	A/T×100		
平成19年3月	11,885	11,683	39	13	8	73	69	5	98.3	0.7	88.5
20	11,545	11,384	2	8	4	66	81	3	98.6	0.6	91.3
21	11,511	11,350	5	2	4	59	91	9	98.6	0.6	92.6
22	11,890	11,722	2	3	1	51	111	1	98.6	0.4	82.7
23	11,147	10,992	4	7	3	54	87	7	98.6	0.5	86.9
24	11,297	11,140	-	-	8	61	88	4	98.6	0.6	83.1
25	11,174	11,042	3	4	3	39	83	-	98.8	0.3	97.4
26	10,921	10,804	3	2	-	37	75	6	98.9	0.4	86.0

(2) 高等学校等進学者数は10,804人(男子5,412人、女子5,392人)で、前年度より238人減少している。進路区分別にみると、高等学校本科10,570人(うち全日制男子5,097人、女子5,236人、定時制男子75人、女子75人、通信制男子45人、女子42人)、高等専門学校166人(男子149人、女子17人)、特別支援学校高等部本科68人(男子46人、女子22人)となっている。

(表21「A」欄参照)

高等学校等進学率は98.9%(男子98.5%、女子99.3%)で、前年度より0.1ポイント上昇している。なお、高等学校等進学率の全国平均は98.4%(男子98.1%、女子98.7%)で、大分県は九州第3位、全国第10位の進学率となっている。

(3) 就職者総数は43人(男子38人、女子5人)で、前年度より4人増加している。このうち、進学者及び入学者で就職している者は6人となっている。

卒業者に占める就職者の割合は0.4%で、前年度より0.1ポイント上昇している。また、卒業者に占める就職者の割合の全国平均は0.4%で、前年度と同率である。

就職者総数のうち県内に就職した者は37人で、前年度より1人減少している。就職者のうち県内に就職した割合は86.0%で、前年度より11.4ポイント低下している。

表 2 1 設置者別・進路別卒業生数（中学校）

（単位：人、％）

区 分	合 計			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G)	10,921	5,493	5,428	159	77	82	10,532	5,278	5,254	230	138	92
A 高等学校等進学者	10,804	5,412	5,392	159	77	82	10,415	5,197	5,218	230	138	92
計	10,570	5,217	5,353	156	75	81	10,184	5,004	5,180	230	138	92
高等学校	10,333	5,097	5,236	155	74	81	9,949	4,885	5,064	229	138	91
本科（全日制）	150	75	75	1	1	-	149	74	75	-	-	-
本科（定時制）	87	45	42	-	-	-	86	45	41	1	-	1
高等専門学校	166	149	17	3	2	1	163	147	16	-	-	-
特別支援学校・高等部本科	68	46	22	-	-	-	68	46	22	-	-	-
B 専修学校（高等課程）進学者	3	2	1	-	-	-	3	2	1	-	-	-
C 専修学校（一般課程）等入学者	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
D 公共職業能力開発施設等入学者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E 就職者	37	32	5	-	-	-	37	32	5	-	-	-
F 上記以外の者	74	44	30	-	-	-	74	44	30	-	-	-
G 不詳・死亡の者	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
H (再掲)												
Aのうち就職している者	6	6	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-
Bのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Dのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校等進学率 A/T×100	98.9	98.5	99.3	100.0	100.0	100.0	98.9	98.5	99.3	100.0	100.0	100.0
卒業生に占める就職者の割合 就職者総数(E+H)/T×100	0.4	0.7	0.1	-	-	-	0.4	0.7	0.1	-	-	-
高等学校本科(全日・定時)への 入学志願者数	10,529	5,204	5,325	156	75	81	10,143	4,991	5,152	230	138	92

(4) 就職先を産業別にみると、第1次産業4人(9.3%)、第2次産業19人(44.2%)、第3次産業19人(44.2%)、その他・不詳1人(2.3%)となっている。

前年度に比べ第1次産業は1人増加、第2次産業は2人増加、第3次産業は同数、その他・不詳は1人増加となっている。

表 2 2 産業別就職者数（中学校）

（単位：人）

区 分	計	男	女
計	43	38	5
第1次産業	4	4	-
第2次産業	19	18	1
第3次産業	19	15	4
その他・不詳	1	1	-

2 高等学校（全日制・定時制）卒業生

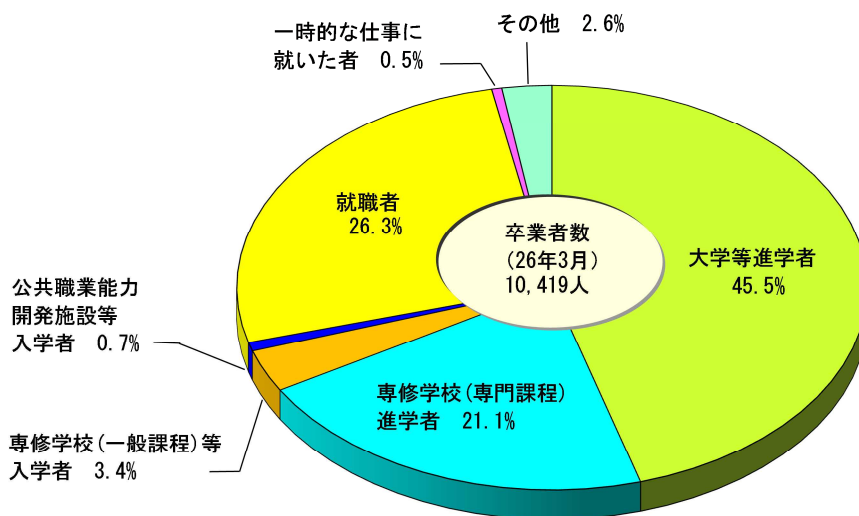
(1) 卒業生数は10,419人(男子5,254人、女子5,165人)で、前年度より582人減少している。進路別内訳をみると、大学等進学者4,737人(45.5%)、専修学校(専門課程)進学者2,196人(21.1%)、専修学校(一般課程)等入学者353人(3.4%)、公共職業能力開発施設等入学者74人(0.7%)、就職者2,739人(26.3%)、一時的な仕事に就いた者54人(0.5%)、その他266人(2.6%)となっている。

表2-3 進路別卒業生数（高等学校）

(単位：人、%)

区分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A. B. C. D のうち 就職者	大学等 進学率	卒業生に占 める就職者 の割合	就職者の うち県内 に就職し た割合
	T	A	B	C	D	E	F	G	H	A/T ×100	(E+H)/T×100	
平成19年3月	11,951	5,481	2,286	369	77	3,262	137	339	42	45.9	27.6	74.0
20	11,528	5,316	2,102	389	59	3,263	60	339	48	46.1	28.7	75.8
21	10,969	5,277	1,784	478	44	2,985	95	306	53	48.1	27.7	75.5
22	10,982	5,146	2,193	453	75	2,705	87	323	55	46.9	25.1	78.8
23	10,662	5,059	2,128	476	53	2,699	51	196	71	47.4	26.0	77.7
24	10,621	4,859	2,150	415	77	2,807	108	205	36	45.7	26.8	78.6
25	11,001	5,007	2,308	430	73	2,841	67	275	44	45.5	26.2	78.5
26	10,419	4,737	2,196	353	74	2,739	54	266	26	45.5	26.5	78.3

図5 進路別卒業生の構成比（高等学校）



(2) 大学等進学者数は4,737人(男子2,122人、女子2,615人)で、前年度より270人減少している。進路区分別にみると、大学学部3,626人(男子1,959人、女子1,667人)、短期大学本科882人(男子138人、女子744人)、大学・短期大学の通信教育部4人(男子1人、女子3人)、大学・短期大学の別科0人、高等学校の専攻科225人(男子24人、女子201人)となっている。(表2-4「A」欄参照)

大学等進学率は45.5%(男子40.4%、女子50.6%)で、前年度と同率になっている。(図6「大学等進学率」グラフ参照) なお、大学等進学率の全国平均は53.8%(男子51.5%、女子56.1%)で、大分県は九州第2位、全国第32位の進学率となっている。

表 2 4 設置者別・進路別卒業生数（高等学校）

（単位：人、％）

区 分	合 計			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G+H)	10,419	5,254	5,165	7,829	4,048	3,781	2,590	1,206	1,384
A 大学等進学者	4,737	2,122	2,615	3,609	1,636	1,973	1,128	486	642
大学（学部）	3,626	1,959	1,667	2,936	1,541	1,395	690	418	272
短期大学（本科）	882	138	744	664	89	575	218	49	169
大学・短期大学の通信教育部	4	1	3	3	-	3	1	1	-
大学・短期大学の別科	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校・専攻科	225	24	201	6	6	-	219	18	201
特別支援学校・高等部専攻科	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B 専修学校（専門課程）進学者	2,196	925	1,271	1,614	679	935	582	246	336
C 専修学校（一般課程）等入学者	353	240	113	265	189	76	88	51	37
D 公共職業能力開発施設等入学者	74	62	12	59	51	8	15	11	4
E 就職者	2,739	1,731	1,008	2,068	1,369	699	671	362	309
F 一時的な仕事に就いた者	54	27	27	22	14	8	32	13	19
G 上記以外の者	258	145	113	184	108	76	74	37	37
H 不詳・死亡の者	8	2	6	8	2	6	-	-	-
進学就職者等 計	26	6	20	21	5	16	5	1	4
I (再掲)									
Aのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Bのうち就職している者	11	1	10	6	-	6	5	1	4
Cのうち就職している者	8	2	6	8	2	6	-	-	-
Dのうち就職している者	7	3	4	7	3	4	-	-	-
大学等進学率 $A/T \times 100$	45.5	40.4	50.6	46.1	40.4	52.2	43.6	40.3	46.4
卒業生に占める就職者の割合 就職者総数(E+I)/T × 100	26.5	33.1	19.9	26.7	33.9	18.9	26.1	30.1	22.6

表 2 5 大学(学部)・短期大学(本科)への入学志願状況（高等学校）

（単位：人、％）

区 分	大学(学部)・短期大学(本科) への入学志願者数(現役)			大学(学部)・短期大学(本科) への進学者数			大学(学部)・ 短期大学(本科) 進学達成率(%)
	A		短期大学(本科)	B		短期大学(本科)	B/A × 100
	大学(学部)	短期大学(本科)		大学(学部)	短期大学(本科)		
平成19年3月	5,721	4,639	1,082	5,263	4,200	1,063	92.0
20	5,586	4,570	1,016	5,113	4,112	1,001	91.5
21	5,470	4,535	935	5,096	4,186	910	93.2
22	5,268	4,288	980	4,938	3,964	974	93.7
23	5,248	4,316	932	4,894	3,982	912	93.3
24	5,192	4,354	838	4,646	3,822	824	89.5
25	5,363	4,443	920	4,797	3,896	901	89.4
26	5,028	4,136	892	4,508	3,626	882	89.7

(3) 就職者総数は2,765人(男子1,737人、女子1,028人)で、前年度より120人減少している。進学者及び入学者のうち就職している者は26人となっている。(表24「I」欄参照) 卒業生に占める就職者の割合は26.5%(男子33.1%、女子19.9%)で、前年度より0.3ポイント上昇している。(図6参照) なお、卒業生に占める就職者の割合の全国平均は17.5%(男子21.1%、女子13.9%)で、前年度より0.5ポイント上昇している。

卒業生に占める就職者の割合を学科別にみると、高い順に、水産科82.9%、工業科71.3%、農業科66.0%、福祉科62.9%、家庭科47.7%、商業科44.9%の順となっている。(表26、図7参照)

就職者総数のうち県内に就職した者は2,166人で、前年度より99人減少し、就職者のうち県内に就職した割合は78.3%で前年度より0.2ポイント低下している。

表 2 6 学科別進路別卒業生数 (高等学校)

(単位：人、%)

区 分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A, B, C, D のうち 就職者	大学等 進学率 A/T × 100	卒業生に占 める就職者 の割合 就職者総数 (E+H)/T×100
	T	A	B	C	D	E	F	G	H		
計	10,419	4,737	2,196	353	74	2,739	54	266	26	45.5	26.5
普通科	6,105	3,698	1,265	279	41	617	34	171	15	60.6	10.4
農業科	318	22	64	1	5	210	1	15	-	6.9	66.0
工業科	1,491	153	182	49	18	1,060	5	24	3	10.3	71.3
商業科	969	171	334	7	6	430	5	16	5	17.6	44.9
水産科	35	4	2	-	-	29	-	-	-	11.4	82.9
家庭科	281	89	44	2	1	134	3	8	-	31.7	47.7
看護科	296	219	64	-	-	13	-	-	1	74.0	4.7
福祉科	89	8	20	3	-	54	3	1	2	9.0	62.9
総合学科	645	261	200	1	3	162	3	15	-	40.5	25.1
その他	190	112	21	11	-	30	-	16	-	58.9	15.8

図 6 進学率等の推移 (高等学校)

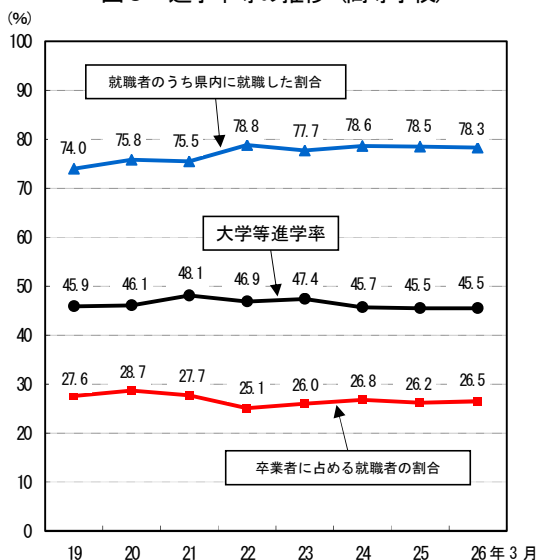


図 7 学科別進学率・就職者の割合 (高等学校)

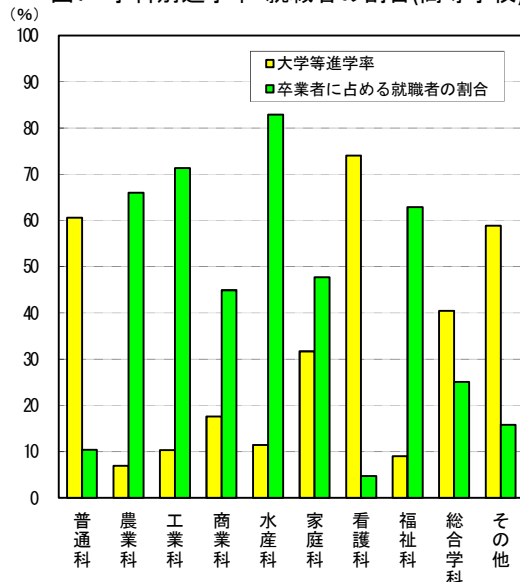


表 2 7 地元就職率の比較 (高等学校)

(単位：%)

区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率
[全国]	82.1	千葉	81.7	三重	88.5	徳島	73.1
北海道	93.0	東京	90.6	滋賀	91.2	香川	91.6
青森	58.9	神奈川	81.0	京都	85.3	愛媛	81.9
岩手	64.7	新潟	93.2	大阪	93.9	高知	64.1
宮城	85.4	富山	92.1	兵庫	86.6	福岡	81.8
秋田	61.5	石川	92.1	奈良	68.5	佐賀	58.7
山形	77.2	福井	88.8	和歌山	76.1	長崎	60.5
福島	82.2	山梨	87.8	鳥取	80.7	熊本	60.3
茨城	87.3	長野	91.2	島根	74.6	大分	78.3
栃木	82.2	岐阜	79.4	岡山	83.3	宮崎	57.1
群馬	90.3	静岡	93.4	広島	91.4	鹿児島	56.8
埼玉	74.5	愛知	96.6	山口	82.9	沖縄	68.9

(4) 就職者総数を職業別にみると、生産工程従事者が864人(31.2%)で最も多くなっている。

表28 職業別就職状況(高等学校) (単位:人)

区 分	計	男	女
計	2,765	1,737	1,028
専門的・技術的職業従事者	286	226	60
事務従事者	172	23	149
販売従事者	227	77	150
サービス職業従事者	618	183	435
保安職業従事者	142	130	12
農林業従事者	18	16	2
漁業従事者	8	6	2
生産工程従事者	864	686	178
輸送・機械運転従事者	125	119	6
建設・採掘従事者	147	144	3
運搬・清掃等従事者	63	63	0
その他	95	64	31

(5) 就職者総数を産業別にみると、製造業が855人(30.9%)で最も多く、次いで建設業339人(12.3%)、医療、福祉264人(9.5%)の順となっている。

また、県内就職者2,166人(男子1,298人、女子868人)では、製造業が646人(29.8%)で最も多く、次いで建設業249人(11.5%)、医療、福祉241人(11.1%)の順となっている。

県外就職者599人(男子439人、女子160人)を就職先の都道府県別でみると、第1位が福岡県221人(36.9%)で最も多く、次いで東京都89人(14.9%)、愛知県79人(13.2%)、大阪府61人(10.2%)の順となっている。

表29 産業別就職状況(高等学校) (単位:人)

区 分	就職者総数			うち県内就職者		
	計	男	女	計	男	女
計	2,765	1,737	1,028	2,166	1,298	868
農業、林業	23	16	7	20	14	6
漁業	10	6	4	8	5	3
鉱業、採石業、砂利採取業	16	12	4	15	11	4
建設業	339	311	28	249	224	25
製造業	855	657	198	646	481	165
電気・ガス・熱供給・水道業	39	32	7	24	19	5
情報通信業	13	5	8	8	2	6
運輸業、郵便業	134	100	34	96	71	25
卸売業、小売業	261	103	158	227	88	139
金融業、保険業	12	1	11	9	-	9
不動産業、物品賃貸業	17	9	8	13	7	6
学術研究、専門・技術サービス業	29	25	4	22	18	4
宿泊業、飲食サービス業	239	82	157	198	61	137
生活関連サービス業、娯楽業	155	42	113	124	34	90
教育、学習支援業	6	2	4	2	-	2
医療、福祉	264	87	177	241	83	158
複合サービス事業	36	16	20	32	13	19
サービス業(他に分類されないもの)	87	51	36	58	33	25
公務(他に分類されるものを除く)	182	155	27	133	114	19
その他	48	25	23	41	20	21